

生活支援コーディネーター・CSW が地域で見て・聞いてきた



みんなの

Vol.16

ささえあいレポート

新しい年を迎え早 2 月になりました。ますます寒さも厳しくなり、朝は布団から出るのに、気合が要る今日この頃です…。今回は「食」でつながり、広がった支援の輪をご紹介します。

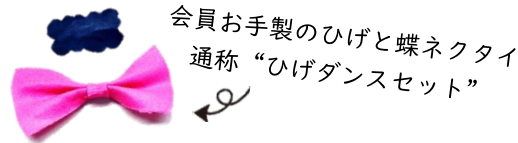
“ちょっといい話”

#16 世代を超えたつながりの輪

先日、「地域交流会・ひげダンスを踊ろう」と称して、老人クラブからすもり泉会の皆さんと、烏森小ランラン広場を利用する子どもたちとの交流会が開催されました。

老人クラブの皆さんのコミカルでユーモアあふれるひげダンスが披露されると、初めて目の当たりにするダンスにとっても興味津々に目を輝かせる子どもたち。その後、ひげダンスを全く知らない子どもたちに、「こんなのが流行ったんだよ」「こうやって楽しむんだよ」と老人クラブの皆さんが丁寧に教え、最後はお手製の「ひげ」と「蝶ネクタイ」を子どもたちに配り、一緒にダンス！

世代は大きく離れていても、ひとつのことを一緒に楽しむことで生まれる新たなつながりの輪が、これからもどんどん増えていくと良いですね。



5名の会員有志が子どもたちにダンスを教えます。



『食』でつながる支援の輪

活動の点と点がつながることで「食」の輪がつながり、支援の輪もさらに広がっていきます。



あつめる
くばる

フードバンク目黒

(食料の寄付を受け、必要なかたへ配布)

つながる

くばる

NPO 法人ガブリエル

(医療的ケア児のヘルパー、相談支援、デイサービス)



NPO 法人ガブリエルでは障害のあるお子様のサポートをしています。利用者のなかには、ひとり親家庭で忙しく食事まで手が回らない家庭があることがわかりました。そこで、CSW を介してフードバンク目黒に相談し、5 世帯分の食品を預かり、デイサービスの送迎時やヘルパー訪問時に月 2 回配布するようになりました。子どもたちは毎回配布を楽しみにしています。

これまで CSW は地域支援の一環として、食に関わる地域活動をしている団体や活動に興味のあるかたとの情報交換会を行ってきました。昨年 3 月の情報交換会をきっかけに、食支援の活動が新たなつながりへと発展しましたので、その事例をご紹介します。

地域で始まっています

フードドライブ

(余剰食品を集めています)

- 菅刈住区住民会議
奇数月の最終土曜日開催
 - 上一東町会
次回 3 月開催予定
 - 東山住区住民会議
次回 3 月 25 日(土) 13 時~15 時
- ※回収できる食品には条件があります。

地域の掲示板でお知らせチェック!

あつめる

おおくら 大蔵物産株式会社

(遊技場経営)

つながる

つかう

すずめ食堂の会

(子ども食堂)



「パチンコエンジェル」を運営している大蔵物産株式会社では、地域貢献として、景品交換時に出る「余り玉」をお客様から寄付していただき、お菓子と交換して子ども食堂に寄付することを始めました。たくさんのお菓子の中から好きなものを選び、嬉しそうな子どもたちの様子をお客様に報告すると、良いことができたと言われました。



中高生による中高生のためのタウン誌 “めぐろう” 編集員インタビュー



編集長 ^{かんの}菅野 にこ さん(高2)

副編集長 ^{こしま ななみ}小島 名奈水 さん(高3)

14号

編集員になったのはいつですか？きっかけは？

良かったこと、やりがいを感じたことは？

菅野:中学1年から。入学後、“めぐろう”をもらって、何となくいいな、と軽い気持ちで始めました。

菅野:児童館職員に出会えたことです!“めぐろう”が私の中で一番の居場所になっているのは職員のおかげ。いろいろな児童館に集まって活動しています。

小島:高校1年から。雑誌を読むのが好きなので、学校で見て、楽しそうだなと思い、“めぐろう”に挟まれていた応募用紙で申し込みました。14号表紙のイラストは一緒に入った同級生が描きました。



めぐろうキャラクター めぐろっち

小島:皆が意見を出し合い、自分のやりたいことを雑誌に表せるのが大きな体験です。読者目線に立って取材したり、校正したり、読みやすいデザインを考えたり、雑誌作りの大変さと楽しさの両方を味わえました。

地域との関わりは？



小島:すずめ食堂の手伝いや児童館のイベントに参加しています。

菅野:碑文谷風船団に入って区民まつりなどでバルーンアートの配布、夏体験ボランティアなどやっています。生まれも育ちも目黒で、目黒が大好きです!



編集の合間に、カードゲームをやり編集員同士で親睦も図っています。



興味のある区内の中高生が集まり、児童館職員さんの手厚いサポートで、楽しく過ごせる場となっています。“めぐろう”づくりが学校とは別の貴重な居場所になっているようです。(CSW より)

なんでも掲示板

家族のためのひきこもり学習会

『ひきこもりサバイバルプラン～親亡きあとをみすえて～』

日時 2月11日(土) 14:00～16:00

場所 めぐろパーシモンホール【小ホール】

(八雲 1-1-1 めぐろ区民キャンパス内)

講師 畠中 雅子氏

(ファイナンシャルプランナー)



パネル展のお知らせ

設置期間 3月17日(金)～23日(木)まで

場所 目黒区総合庁舎 西口ロビー

(目黒区上目黒 2-19-15)

内容 コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)と生活支援コーディネーター(SC)の取り組みについて紹介いたします。総合庁舎に立ち寄った際は、ぜひご覧ください。



★お申込み・問い合わせは

ささえあい係までご連絡ください(下記参照)

注目! CSWが地域のイベントに出張してきました!

おかげマルシェ
10月10日(月)

東急ベル10周年感謝祭
11月26日(土)



田道ふれあい館まつり
1月21日(土)



イベントなどで見かけたらお気軽に声をかけてください!

編集後記～CSWのつぶやき～

わたしたちコミュニティ・ソーシャルワーカーは、Facebookでも【CSWのつぶやき】を発信中!ここには載せきれなかった内容や、ちょっとしたウラ話などを掲載しています。

「わたしの地域はここが魅力的」「町内でこんなイベントがある」など、あなたの地域ならではの情報がありましたら、ぜひCSWまでお寄せください。

目黒区社会福祉協議会

仲間やご近所などでの支え合いの工夫やお困りごとなど、ぜひ教えてください!

【発行】(社福) 目黒区社会福祉協議会 地域支援課 ささえあい係 発行日: 令和5年2月6日

目黒区上目黒 2-19-15 目黒区総合庁舎別館 3階 TEL: 03 (5708) 5792 FAX: 03 (3711) 4954

不定期発行中